

富津市図書館協議会 会議録

1 会議の名称	令和6年度第3回富津市図書館協議会
2 開催日時	令和7年3月19日（水） 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	富津市役所5階 503会議室
4 審議等事項	議題 （1）令和6年度事業の進捗について ①令和6年度図書館自主事業の進捗 ②第2回会議で寄せられたご意見等 ③図書館アンケート結果
5 出席者名	○出席委員 三浦貴子、平 順子、杉田玲子、永野弘子、米村志朗、 長谷川令子、伊藤隆男、矢上美知子 ○事務局 中山教育部長、篠田生涯学習課長、網代主査、伊藤社会 教育主事 ○指定管理者（㈱図書館流通センター） 須藤図書館長、大河原、澤田
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0名（定員10名）
9 所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10 会議録 （発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度第3回 富津市図書館協議会 会議録

発言者	発言内容
(事務局) 篠田課長	<p>皆様、こんにちは。委員の皆様方におかれましては、本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田です。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議前に担当より配布資料の確認をさせていただきます。</p>
(事務局) 網代主査	<p>机上配付：次第、委員名簿、座席表</p> <p>【資料1】令和6年度事業の進捗</p> <p>【資料2】第2回会議で寄せられたご質問等について</p> <p>【資料3】図書館アンケート調査結果報告書</p>
(事務局) 篠田課長	<p>[次第1 開会]</p> <p>それでは、ただいまから、令和6年度第3回富津市図書館協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。</p> <p>吉田委員におかれましては、本日欠席でございます。</p> <p>10名の委員のうち、出席委員は9名でございます。</p> <p>従いまして、富津市立図書館条例施行規則第20条第5項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして会議の公開についてですが、本日、傍聴者はありません。</p> <p>また会議録作成のため録音させていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでは、はじめに、川口会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
議長 (川口会長)	<p>[次第2 会長あいさつ]</p> <p>こんにちは。本日は令和5年4月1日から、また今年度からの方もいらっしゃるかもしれませんが、富津市図書館協議会に委嘱されまして本年3月31日までが任期ですので、本日は最後の協議会となります。</p> <p>スタートのときは、委員の皆さん各自が図書館についてのハード面、ソフト面に、理想像を描かれていたように思っております。</p>

	<p>それをこの協議会の中で意見を出し合い、そして協議会をどのように進めるのか、またどのような形でまとめるのか等々、皆さんと議論してきたところでございました。</p> <p>そこで図書館流通センターさん、および市の担当部署が計画し、実施されました図書館事業の進捗を中心に関連する事項、また鳥瞰的立場での意見を皆様にあげまして、また事務局側も、当日出た質問等については次の協議会で回答していただき、皆さんの協力もあり、充実した協議会として進んでいったと私なりに思っているところでございます。</p> <p>そういう中で今日は、今までの協議内容を踏まえまして、今回の議題である令和6年度事業報告を受けて協議していきたいと思いますので皆様のご協力をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p> <p>篠田課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではここからは、富津市図書館条例施行規則第20条第4項の規定によりまして、会長に議長となつていただき、進行をお願いしたいと存じます。</p> <p>川口会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p> <p>(川口会長)</p>	<p>それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。</p> <p>円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議録署名人を指名させていただきます。</p> <p>杉田委員と長谷川委員をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>[次第3 議題]</p> <p>それでは、議題に入ります。</p> <p>(1) 令和6年度事業報告について、一括して事務局より、説明を求めます。</p>
<p>事務局</p> <p>(須藤館長)</p>	<p>年度途中ですが、1年間の総括という形で報告させていただきます。</p> <p>資料1「令和6年度図書館事業の進捗」から報告をさせていただきます。</p> <p>事業の進捗につきましては実施済みの4月から2月までの11か月間</p>

の数字となっております。3月は省かせていただいております。

【通年事業】1番「おはなし会」。毎月、4回開催しております、2月末までに401名の参加をいただいております。

2番「おはなし会スペシャル」。特別なおはなし会を行なおうということで、4月に2回、紙芝居ボランティア「ありの実」さんが開催したところ好評でしたので、毎月「ありの実」さんに来ていただいて、紙芝居を中心に実施いたしました。2月まで196名の参加となっております。また11月に映画「おしりたんてい」の上映と図書館の男性スタッフだけで「おはなし会」を実施しました。これは野田市立図書館で実際にイベントがありまして、そこに富津のスタッフが参加してノウハウを覚えてきました。当日はイオンさんの、パンどろぼうの着ぐるみが来てアゼリアコートで読み聞かせ、というイベントと重なりまして人数は少なかったのですが、それでも参加した皆様に大変喜んでいただきました。

3番「はじめてのおはなし会」。月2回開催をして、2月までに191名の参加をいただいております。昨年度は1年間で143名参加でしたので、50名増の参加をいただいております。

4番「職場体験学習の受け入れ」は、昨年は、千葉南部地域若者サポートステーションから2名を受け入れておりましたが、今年も2名受け入れさせていただいております。その他にイオン1階にあります「放課後等デイサービス ベルテール」から月2回、「図書館お仕事体験」で来ていただいて、配架をしてもらったり、棚の飾りを作っていただいたりしております。こちらも133名の参加をいただいております。それから1月に天羽高校の職場体験がございまして、3名受け入れております。全部で138人の参加となっております。

5番「図書館見学の受け入れ」は、昨年度はオープン当初ということもありまして図書館見学が市内で随分ありまして、全部で11施設18回、531名の参加がございましたが、今年度につきましては12施設15回38名の参加となっております。図書館の見学は一段落したのかなという感じがしております。

8 「図書館だよりの発行」は、昨年度から①図書館だよりを年6回発行しておりましたが、今年度はターゲットを広げまして、「絵本のおたより」として、②0・1・2歳用、③3・4・5歳用、Fure×2〈フ

レフレ〉という④小学校1・2年生用、⑤3・4年生用、⑥5・6年生用年、⑦「ステップふつつ」というティーン向けと、特に「図書館だより」9月号は〈シニア特集号〉として発行しており、全世代に対して年1回は「図書館だより」の発行ができました。

昨年の1月からスタートした、9番「はじめての工作教室」は、毎月開催をされていて、237人の参加をいただいています。去年は2回で34名でしたので、大体同じような人数が参加されております。

10「わくわく工作教室」。こちらは隔月になりますけれども6回で、78名の参加をいただいております。

11番、お子さん向け映画会「よいこの映画会」。こちらでも隔月開催で58人の参加をいただいております。

それから12番「高齢者向け講座」は、最初はイオンモールにありますスポーツ施設のATTIVOさんと連携をして、ということでしたが、ATTIVOさんは体操等のイベントをイオンモール内でなされてるということもありましたので、「図書館カフェ」という図書館独自のイベントをさせていただいております。こちらは高齢者向けとしてスタートをしましたが、高齢者だけではなく、都心から富津に移住されてきたご夫婦の方などには、こういったところで友達の輪を広げていくという使われ方もございまして、集客は伸び悩んでいますが、毎回7～8名の参加をいただいております。

続きまして17番「図書館HP・SNSの活用」。こちらは10月から1月にかけて50回の更新をしております。図書館のイベントや報告事項は図書館内でも出しておりますけれども、併せてSNSを使いまして発信をさせていただいております。

次のページ18番、団体貸出「学級文庫」。小学校向けの学級文庫の貸出は昨年度、1,025冊の貸出がありましたけれども、今年度は1,595冊と、500冊以上多く借りられているという状況になっております。

19番「団体貸出」。これが非常に多く伸びておりまして、昨年度は21団体、1,016冊の貸出でしたが、今年度は33団体、2,215冊で、倍ぐらの伸びを示しております。

次に【期間事業】の説明に入らせていただきます。

2番「ぬいぐるみのおとまりかい」。こちらは10月26～27日に、お子さんたちにぬいぐるみと一緒におはなしを聞いてもらって、ぬいぐる

みには1泊してもらい、他のぬいぐるみたちと、夜にどういう交流をしているかとかをアルバムに仕立てまして、お子さんたちにぬいぐるみとともに返すということをしております。昨年は7名の参加でしたが、口コミでだいぶ広がりまして、今年度につきましては24名の参加をいただいております。

6番「本の福袋」。こちらは読書週間に合わせまして、毎年、この時期に図書館で開催しております。昨年は、56組の福袋を出しましたけれども、今回は70組を発行させていただきまして、大体1週間ぐらいで全部貸し出されております。

次のページ、7番「つくろ、まなぼ、あそぼ。」。「創り出す・体験する・触れ合う」をテーマで開催しておりますが、今年度につきましては落語の寄席を開催しております。こちらは6月以降、毎月定例的に開催していきまして、2月までで607名の参加をいただいております。

3月は図書館の開館2周年記念に合わせまして参加者を募集しておりますけれども、今、120名ぐらいの予約が入っている状況でございます。

8番「図書館アンケート」。この内容につきましてはこの後で詳しく皆様にご説明させていただきます。ただ数字の間違いが有りまして、紙での回答が200とありますけれども、206件の誤りで、合計が284件となっております。申し訳ございませんでした。

大人向けのイベントにも力を入れておりまして、「大人のおはなし会」、「大人のひろば」を開催しております。

「大人のおはなし会」につきましては32名、「大人のひろば」については、計61名の参加となっております。

11番「読書通帳」。お子さんたちに本を沢山読んでもらいたいと「読書通帳」を夏と冬、2回発行しております。全部で334枚発行しまして、58名が目標達成しております。こちらにつきましてはマクドナルドさんがこの読書通帳に興味を持っていただきまして、チケットではないんですが、図書館で達成のスタンプを押した読書通帳を、マクドナルドで見せると、ソフトクリームだったり、マックシェイクだったりを無料でお配りします、ということをやったので、そういった形のイベントとして実施させていただいております。また、マクドナルドさんからは非常に評判が良いということですので、来年度につき

ましても同じようなイベントを開催していきたいと考えております。

次のページ、19 番「バリアフリー映画会」は1月 23 日に『じんじん』という映画の上映を実施させていただきました。こちらは耳の聞こえない方、目の見えない方でも楽しめるという映画になっておりまして、富津市障害福祉課を通しまして、障害者の方に参加していただけるように働きかけをさせていただきました。当日は耳の聞こえない方5名ほどいらっしやいまして開催させていただきましたが、事前準備では特に問題はなかったのですけれども、当日、機材トラブルが発生しまして、映画が途中で止まってしまうというトラブルが発生しまして、健常者の方は怒って席を立たれたりもしたのですが、耳の聞こえない方は辛抱強く最後まで映画を見ていただいて、非常に良かったということで拍手までいただきました。映画が止まってしまって、アンケートの中でも「機材のチェックをしっかりとすべき」というお言葉をいただいておりますので、後日、館長名でお詫び文を図書館のホームページと図書館の中にも掲載させていただいております。

それから 20 番「郷土かるた展示」については、図書館の外の「FUTTSU GALLERY」で富津市、野田市、船橋市の3市共同開催という形で、それぞれの郷土かるたを一斉に展示して、またカルタにある郷土の魅力についてそれぞれ紹介するコーナーを設置させていただきました。ちょうど2月に行なわれる「ふつつ検定」で、カルタからの問題も出るという話もございましたので、併せて郷土資料コーナーで「ふつつ検定」の告知と問題集の掲示もしておりました。

次のページに行きまして【その他】になります。

こちらの方もいろいろありますけれども、4 番「図書館流通センター優秀スタッフ選出」。前回の報告の中で選出されましたという報告をさせていただきましたが、富津市立図書館から選出されたスタッフが関東地区を代表して代表者スピーチをさせていただいております。

8 番「閲覧席時間入替制の試行」は冬休み期間に時間での入替制を試しに実施させていただきました。時間については、①10 時から 13 時半、②14 時から 17 時、③それ以外となっております。冬休み期間中ですが、今年につきましてはですね、閲覧者の利用者がそんなに多くなく、毎日半分ぐらいだったということもございまして、大きなトラブルもなく実施ができました。ただ、学生さんが個室を使いたいということ

<p>事務局 (網代主査)</p>	<p>で、この期間は図書館の貸出券を作る方が非常に増えまして、そういったメリットもあったかなと思っております。導入に関しましては、ゴールデンウィークとか夏休みの混雑状況を見ながら、実施する・しないを考えていきたいと考えております。</p> <p>9 番「出張おはなし会」は、オアシス慶寿さんの「認知症Café」の中で出張おはなし会を実施させていただいております。参加者については 26 名で、大体 1 時間をかけて、全部で 6 演目をさせていただいております。おはなし会の後に図書館のイベントの内容紹介ですとか、手づくりのカードを配布したところ、責任者の方から、参加者がとても喜んでいたので、来年は定期的にというお願いをいただいております。図書館のアウトリーチサービスという外に出る活動として、実施していく方向で検討をさせていただいております。</p> <p>最後、新事業となりますが、3 月中は開館 2 周年記念イベントという形でイオンモールを挙げて様々なイベントを開催する予定でございます。</p> <p>図書館が主催するイベントとしましては、2 周年記念の図書バッグを昨年同様、1,000 枚を配布する予定です。それから 3 月 28 日に落語会、4 月 1 日に昨年封切になった映画「おしりたんてい」を、DVD を配給元の徳間書店から貸していただきまして、70 分ほどの映画になりますけれど上映する予定になっております。</p> <p>以上が昨年度の事業を抜粋しましての報告とさせていただきます。</p> <p>つづきまして、前回会議でご質問をいただいた内容の対応等について回答させていただきます。</p> <p>資料 2 をご覧ください。</p> <p>はじめに質問 1 ですが、図書館児童書コーナーにある「おはなしの部屋」にも時計を置いてほしいということで、時計を設置いたしましたのでご報告させていただきます。</p> <p>次に質問 2、児童書に詳しい司書は配置しているのかというご質問ですが、特定分野にのみ専門性等を有する司書の配置はしておりませんが、毎月図書館の休館日にはスタッフ研修を実施し、また民間団体が主催する児童書に関する研修会等にも積極的に参加しまして、幅広い世代の方へ充実した図書サービスができるよう、知識・技術の向上に努めて</p>
-----------------------	--

<p>事務局 (須藤館長)</p>	<p>いるところでは。</p> <p>次に質問3ですが、本市の図書検索システムでは、検索ページまで数工程のページ移動が必要になるのですが、その工程を短くしてほしいということ、図書館ホームページの更新日の表記が、イベント開催日などと間違えやすいので改善してほしいというご意見についてですが、図書館のホームページ及び、図書検索システムについては、自由に仕様が変更できずすぐに改善することができませんので、今後、システム更新等の機会に事業者へ要望してまいります。</p> <p>次に質問4、一般向けの「読み聞かせボランティア養成講座」を開催してほしいというご意見については、今年度、図書館の事業として一般向け講座の企画をしましたが、講師との調整がつかず開催できませんでした。令和7年度、改めて開催に向けて調整してまいります。</p> <p>次に質問5、図書館スタッフの接客対応についてということで、令和7年1月から、毎月の休館日にスタッフ研修を実施し、業務内容や図書館スタッフとしての姿勢の再確認を行っております。皆様に愛される図書館として、サービス向上に努めてまいります。</p> <p>最後に質問6、図書室の絵本が古いので新しくしてほしいというご意見については、公民館図書室等については、図書館整備基本期計画において地域に密着した図書サービスを行う地区館として位置づけていることから、計画的な蔵書整備など読書環境の向上に努めてまいります。</p> <p>「資料2」について、以上でございます。</p> <p>続きまして「資料3」図書館アンケート調査結果報告書の報告をさせていただきます。</p> <p>1ページ、2ページ目が今回行った図書館のアンケートの内容でございます。</p> <p>今回のアンケートは、富津市立図書館等の更なる利便性の向上を目的に、今後の施設管理運営について市民の皆様の意見等を集約・検証・反映させるために実施をさせていただいております。アンケートの対象者は、富津市内図書施設の利用者及び、非利用者となっております。</p> <p>アンケートの方法ですが、①富津市役所のホームページ、図書館のホームページ上にアンケートフォームアクセス用のQRコードの掲載、②広報ふつつ1月号に、アンケートフォームアクセス用のQRコードを記</p>
-----------------------	---

事に掲載をしておりました。アンケート用紙につきましては、市立図書館、富津公民館、中央公民館、市民会館各図書室にアンケート用紙を設置しております。アンケート用紙にはQRコードを載せておまして、持ち帰っていただいて自宅でも回答できるようになっております。実施期間につきましては、令和6年12月26日から令和7年2月14日の約2か月間となっております。

アンケートの質問数については17問、回答の件数は先ほど事業報告で報告をさせていただいたように、アンケート用紙での回答が206件、ウェブでの回答が78件、計284件となっております。

それでは3ページからの集計結果について報告をさせていただきます。

まず「Q1-1 年齢」を見ていただくと過半数が60、70代以上となっております。またアンケートの開始時期が、受験などの時期と重なっていることもありまして10代の利用が増えています。

課題としましては、20代が5%、30代が7%と、この世代をどうやって取りこんでいくかというところが次年度以降の課題と考えております。

続きまして「Q1-2 お住まい」は、市内富津地区、木更津市、君津市、袖ケ浦市合わせました数が全体の8割を占めております。他市からの回答の割合も3割近くとなりますので、富津市立図書館は本が新しく綺麗だとか、明るくて静かといった理由で、新しい人の動きを作り出す一つの要因になっていると思います。ただ、課題は市立図書館から離れている地域に対する読書活動をどうサポートしていくか、というところが次年度以降の課題と考えております。

続きまして「Q1-3 性別」は、図書館で館内を見ていると、男性の利用者は新聞とか館内で過ごされる時間が非常に長くて、女性はお子さんを連れてきたりするので、ぱっと借りてぱっと帰るっていうことが多いので、見た目は男性が非常に多い感じなのですが、実際は女性の方が多いのかなと、今日、館内を見てそのような感じを受けました。

続きまして「Q1-4 ご職業」は、「Q1-1 年齢」で、60代70代の回答者が半数を超えているということもあって、年金受給者が一番多い結果になっております。他の職業は専業主婦等も含めて、まんべんなく回答をいただいております。

6 ページ「Q 2 利用したことのある図書施設」は、回答者の 8 割が市内富津地区と他市ですので、市立図書館、富津公民館の利用が高いのかなというように感じております。今後は中央公民館、市民会館、移動図書館の図書施設の活用に向けて、どう宣伝するのか、こちらに書いてあるように、図書施設で本の受け取りができるとか、そういったことができるということも含めてアピールして他の図書施設を活用していただきたいと考えております。

続きまして 7 ページ「Q 3 図書施設を利用しない理由」ですが、280 件ぐらい回答があった中の 3 人の図書館を利用していない方から回答いただいております。全体の約 1 %ですので、本当の皆さんの意見かどうかというところはありませんけれども、それでも「図書館が近くにない」と全員からいただいていますので、図書館を利用していない人が来られないのであれば、図書館が近くに寄っていくという算段を考えていきたいと思っております。

「Q 4 最もよく利用する図書施設」は、これはアンケートの回答が 200 件以上図書館でありましたので、市立図書館が高くなっていると考えております。市立図書館で使っている理由を見てみましても、家から近いとか、買い物のついでとか、本の新しさとか、そういったところが全体を占めています。

「Q 5 図書施設の利用頻度」は、実際に来館者数は月平均 1 万 5 千人を超える利用があります。利用者登録も 1 万人を優に超えておりますので、市民の 5 分の 1 近くはもう既に登録されている状況になっていると思います。その中で図書館の回答をいただいている方については、頻繁に図書館に通っている方も多く、月に数回、図書館に来ている方が多いように思います。また、図書館の利用頻度がそんなに多くないという方もいらっしゃいますので、改めて利用者呼び込むために、新たなイベントとか広報とかの充実等を来年度で実施していきたいと考えております。

「Q 6 1 か月間の貸出冊数」につきましては、10 月に 1 回の貸出冊数を 6 冊から 10 冊に増やしたこともありまして、4 月から 9 月の平均 15,500 冊から、10 月以降は 16,700 冊と、約 8 %増えていて、貸出冊数を増やした効果が出ている、となります。ただし 10 代の方につきましては、42 名いる中で、11 名のほとんどが借りていないか回答しないと

いう方で、約 26%の方は本を借りてないという回答をしておりますので、この世代に対する対策を、次年度以降進めていきたいと考えております。図書館に来て借りてくれないのだったら、図書館が学校に行って、本を借りてもらうような仕組みに取り組んでいこうと考えております。

「Q7 図書施設を利用する理由」につきましては図書館の中で調べものを行っている方々は全体の8割で、単に勉強をしに来るのではなくて、図書館の資料を使ってという方が非常に多いので、これは富津市の特徴として、他の館にはなかなかないところだと考えております。今回、試験期間ということもあって勉強するためという方も多かったのですが、こちらも座席の入替制を12月から1月で実施することによりまして、閲覧席等の方と勉強する方で住み分けをしたところ、双方にとって居心地の良い空間を提供できたのではないかと考えておりますので、今後も住み分けも含めた空間作りをしていきたいと考えております。

「Q8 図書施設に行く際に一緒にすませる用事」は、やはりイオンモール内にある図書館ということもありまして買い物や外食が7割以上を占めております。ただ次のページの「Q9」の「お出かけの主な目的」にありますけれども図書館へ行くついでにイオンモール内の施設を利用する、図書館を利用するのが主目的というのが非常に多く、買い物ついでに図書館を利用するのではなくて、図書館に来たついでに買い物をしていくという方が7割近くを占めております。

続きまして「Q10 図書館に行く際、利用する交通手段」、これはどこの図書施設につきましても、公共交通機関で行くのはなかなか難しいということもございまして、必然的に自家用車とか、自転車とか、それから徒歩が過半数を占めています。今回のアンケートでは、60歳以上の回答者が5割を超えていますので、やはり今後の課題として、自動車の運転免許返納後の対応を考えております。ですので今後の取り組みとしましては、本の宅配であるとか、高齢者施設へのアウトリーチサービスという、出向いていってお話し会等を開いたり、団体貸出を増やすとかとうことを積極的に進めていきたいと考えております。

「Q11 イベントの参加経験」ではイベント等の参加経験がない方が非常に多く、参加経験がある方が4割ぐらいで、まだまだ告知が足りないのかなと考えております。1回来ていただいた方はリピーターになっ

ていただいているんですけども、それ以外というところでもう少し告知を強めていきたいというふうに考えております。

また「Q11-1 図書館イベントは何で知ったか」ですが、アンケートで見ると、図書館で力を入れている図書館のホームページとかSNSとかの電子媒体による告知より、チラシやポスターを見て、口コミが非常に多かったことから旧来の告知方法が効果的であるということがわかりました。ただ、今後はデジタルネイティブ世代の若い人たちに向けても新しい告知方法を検討していきたいと考えております。

「Q11-2 参加したことの無い理由」としまして、日程が合わないということが4割、イベントのことを知らなかったというのが2割、興味がないというのが2割となっております。興味がないという回答は、20代から40代の方々が非常に多くて、次年度以降はここに向けたイベントを企画していきたいと考えております。

「Q12 展示やイベントで取り扱ってほしいテーマ」は、万遍なく回答を頂いていますが、気になるのは、郷土・歴史に関するイベントを図書館で今までやったことがございませんので、来年度以降、検討していきたいと考えております。

「Q13 図書館を利用いただいた感想」は、この2年間、図書館を運営してきて皆さんからのいろんなご意見が出てきてるのだと思います。

「Q13-1 図書館の施設や設備について」は満足や、やや満足というのは良いと思うのですが、やや不満であるとか不満が全体の4%を占めております。全体ではそんなにはないですが、その中では本を検索するパソコンの数が少ないであるとか、木の椅子が硬いというご意見もありましたので、こういったところを次年度以降、対策に取り組んでいきたいと考えております。「Q13-2 案内表示のわかりやすさ」、「Q13-3 目的の本・雑誌の探しやすさ」ですが、それぞれ14%、17%と、不満・やや不満が多くなっております。ここは、案内表示板がわかりにくいであるとか、児童書のコーナーで本が探しにくいところがあるとかのご意見を非常に多くいただいております。中には、1階のイオンの食品コーナーのように上からぶら下げて、どこから見てもわかるようにしたらどうか、とというご意見もいただいておりますので、天井に吊るして良いかというのは施設の方と相談をしないといけないところもありますけれども、そういったことができるようであれば、早急に改善に取り

組んでいきたいと考えております。「Q13-4 図書館スタッフの対応や説明」は図書館流通センターのスタッフの対応についてのところは非常に皆さんから良い答えをいただいております、やや不満とか不満が全体の2%となって非常にありがたいと思っておりますが、中には「スタッフの数が少なくて質問もできない」とか「愛想がない」というご意見もいただいておりますので接遇研修も月に1回の研修の中で行っていますので、なるべく笑顔で利用者に接していけるよう話し合っていきたいと考えております。「Q13-5 予約・リクエストサービスについて」ですが、こちらは「使い方がわからない」とあるとか、予約サービスが利用できるのは市内在住・在勤・在学の方だけですので、市外の方からは「利用できないのが不満」、といただいておりますけれども、今ですね、実際ですね、予約については、あまり富津市内では利用をされてない実態でございます。ちょっと調べましたところ、宮部みゆきさんの新刊『三島屋変調百物語拾之続』ですけれども、今、市内で2冊ありまして、予約者が6件となっておりますが、私が住んでる川崎市は15冊の蔵書に対して、予約数が1,500件。たとえば、ハリー・ポッターの最終巻は多分2年ぐらいでやっと届く、というぐらい川崎市では全然本が借りられない状況ですが、富津市の方は皆さん実際に棚にある本を手にとって見ていくので、ベストセラー本も棚に並んでいて新しい本がすぐ手に入るという評判をいただいております。ただ予約サービスについては、確実に手に入るというところもありますので、こちらの方もアピールを進めていきたいと考えております。

続きまして、19 ページ「Q14 富津市電子図書館を利用していますか」は半数が電子図書館を利用していないですが「利用方法がわかれば利用したい」「利用したいと思っている」という方々が3割ぐらいいらっしゃいますので、電子図書館の周知ですとか利用説明会といったものをこまめに開催して電子図書館を利用者の身近なものにしていきたいと考えております。自分たちが使っているスマホを使って実際こうやると見えますよ、こうやってやると拡大もできて見やすいですよ、というところを含め説明会をしていけたらなというふうに考えております。「Q15 電子書籍でどんなジャンルの本等が読みたいですか」ですが、多種多様でございまして、これはというものではないですが、多数のニーズがあります。特にですが、読み上げ機能付きの図書というのは電子なら

	<p>ではのニーズですので、こういったことができるということを利用者の方にどんどん広めていきたいと考えております。また「その他」には、わずかですが色々コメントをいただいています。</p> <p>「Q16 今後、力を入れて欲しい取り組み」では「図書の量と質」のところで過半数の意見を占めております。図書館の開館前は図書館を開館して欲しいというニーズが非常に高かったと思うんですが、やはり開館した後はサービスではなくて、やはり本自体の魅力を皆さん求められていますので、質と量につきましてはこれからの参考とさせていただきたいと考えております。</p> <p>それから「Q17 図書施設に対するご意見、ご要望」の 35 番で「君津の図書館のようにカート置いて欲しい」というご意見がございます。図書館の中は、カートOKとなっているんですけども、イオンの3階にはイオンのカート置き場がありませんので1階からわざわざ上がってこないといけないっていうこともありますので図書館の前にカート置き場を作っていただいて、すぐ使っていただけるような交渉をイオン側にしていきたいと考えております。</p> <p>アンケートの方は以上でございます。</p> <p>以上をもちまして今年度の事業報告を終了させていただきます。</p>
議長 (川口会長)	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>委員の皆さんから、ご質疑等がありましたらお願いします。</p>
米村委員	<p>報告は大変でしたね。</p> <p>今のSNSの時代に取り残されたって言ったら失礼かもしれないけど、そういう人たちにホームページにしてもアンケートにしても、QRコードなんか全く入って行けない可能性がありますよね。ちょっと話が飛ぶんですけど、子育て世代の人たちが子供を抱えたままぱっと来てぱっと買い物済ませているっていうその人たちに、図書館のどこかにちょっと30分とか1時間とか預かりと、それとスマホの操作と、他県から来た人たちが交流の場がないというのと、運営側が目の届かないところを何か指摘されているんじゃないかと思うんですね。検討しなければいけない時期に来ているのかもしれない。</p>

議長 (川口会長)	<p>米村さんから３点ほどでたと思いますけれども、一つがパソコン、スマホに乗り遅れた高齢者と、子どもの預かりと、交流ということですね。どのように図書館が、というかもっと広い意味での課題かと思うので難しいところだと思いますけど、事務局いかがですか。</p>
事務局 (伊藤社会教育主事)	<p>知りうる限りのことを情報提供させていただきます。</p> <p>公民館のＩＴの教室が２０年ほど前にあって、それがなくなって、現在スマホに移行していて、それはおっしゃる通りだと思います。実は３館共通してですね、シニア向けのスマホ教室を１回ずつ開催するという案があったんですが富津地区だけは予定が合わなくてやらなかったという事情がございます。中央と市民会館では開催しております。なので、公民館にご意見を伝えてマストにしていこう、というのが１点ですね。それからイオンモール富津さんから公共施設としての使い方というアンケートというか問い合わせが市向けにございまして、そのときに何かできることはないかとか何が必要かというような職員向けのアンケートがあったときに、やはりお子さんを預かる託児機能みたいなことは少なからずありました。なので、その実現が、どちらサイドになるかわからないんですが、そういうのがあればイオンにとっても素晴らしいことですし、図書館にとっても素晴らしいことなのでぜひ実現していけたらなと個人的には思っています。</p> <p>それから横断的ないろんな世代の居場所といったような問題は図書館に限らず、これから市全体を取り上げての問題となろうかと思います。例えば学校を核とした社会教育ということも文部科学省から言われていますが、そこら辺の進め方も学校の統廃合が進む中で、どのように地域の方々の居場所を作っていくかということがこれから課題になっていくと思われるので、それについては貴重なご意見として承りたいと思います。以上です。</p>
議長 (川口会長)	<p>いずれにしろ関係部署に要望等を発信しているということでよろしいですね。</p> <p>米村さんいかがですか。</p>
米村委員	<p>千種新田の海側に別荘群があって、そこをウォーキングしていて話す</p>

川口会長	<p>機会があった後期高齢の方たちは、その地域の自然の良さは満喫できるんですが、やはり対人的な温かさとか、市の魅力をどう伝えるかで変わってくると思いますね。</p> <p>その辺についても教育委員会もいろいろな部署との交流があると思いますので、関係部署に情報提供していただくということで、米村さん、よろしいですか。</p> <p>他に何かございますか。</p>
矢上委員	<p>このアンケートで、どんな回答がくるのか楽しみにしていました。</p> <p>イオンの中に図書館ができるってということで、どっちが目的なのか、ちょっと心配もありながら回答を見たときに、本を借りたい・本を読みたいという目的が先で図書館に来ていることが見えて、とてもほっとしています。本の好きな方がたくさんいるし、図書館があることが生きてきているな、という感じがするので、ありがたいなと思っています。</p> <p>ちょっと重複して申し訳ないですが、カートの問題ですけど、先日知り合いが、免許を返納をしたので自分で図書館までは来られなくて、人に頼んで送り迎えしてもらっていて、本を 10 冊持って下の階に降りてきたけど、これでは買い物も出来ないというので、カートについてお願いしたかったので、今お話が聞けてとても良かったなと思っています。</p> <p>イベントですけど、落語などがだいぶ定着して、図書館に落語の本のコーナーがあって、イベントに結びつけて興味を持って本を見ていくみたいなことになって、それはすごく大事だなと思っているんですけど、他の例えば、高齢者の問題とか、友達を作りたいみたいな方がいますが、それは図書館の役割というより、生涯学習課や公民館活動とか福祉関係の方たちが図書館という場を利用して何かをすることがあったにしても、図書館が主としてするのはどうなのかっていう感じが私はしています。イオンの周りは意外と集まる場所がないというので、それを図書館に求めてきているとしたら、生涯学習課などでやり方を考えていかなきゃいけないのではないかとか、子どもの工作とかも、イオンが主催してやっているものを図書館もやっていくというのは疑問を持ちながら過ごしています。</p> <p>なので、本を読んでもくれる人を広げるとか、そういうことに力を注い</p>

	<p>でほしいなというふうに思います。</p> <p>それと、「こどもと本を結ぶ会」では、本を探しにくいついていう意見が多いです。探しやすいついていう方も沢山いるので、そこの違いがよくわからないですけど。例えば図書館の棚にいくと、有吉佐和子さんの名前の表示はなくて、隣の有吉何とかっていう人はある。表示のある人となない人が並んでいたり、文庫本と大きい厚い本が並んでいたりとか。棚の上の番号も、もしかして何番ですよって教える番号ですかね。でも行った人はあの番号はよくわからない。むしろあそこには、ここは「雑誌のコーナー」とかを表示した方がわかるとか、そういうことを言っていました。なので、探すという点についての整理はどうなのかなと思います。</p> <p>もう一つ、10代の子とかはなかなか本を読まないのて学校っていうのがとても大事な場所になっていくと思うんですけど、青堀小学校がすごく近いのにあまり見学に来ていなさそうですが、図書館体験をしてみるとか、環境作りとか何かありませんか。</p>
議長 (川口会長)	<p>3点ぐらい出たと思うんですけど、イベントの種類の中でイオンの中に図書館があるという中で、何かいろいろ制約されるというわけじゃないですけど、館長から以前そういう説明されていましたよね。その辺のご説明いただければと思います。</p>
事務局 (須藤館長)	<p>イベントにつきましては確かにイオンさんの工作教室があつて、プラモデルを作ったりとかを今でもやられてるんですけども、図書館は図書館の本を使って、その中にある工作をやるつていう形にして、本を使ってというのがメインになりますので、そこはイオンさんのイベントとは少し違うところがございます。</p> <p>また落語に関しましては非常に評判が高いです。演者さんが落語をやる前に図書館に来てくださつて、落語のコーナーを見て、そこにある本に対する演目をしていく。特にお子さんが多いときにはお子さん向けの落語の絵本がございますので、そういったものもあるということを宣伝していただくと、図書館が宣伝しなくてもその関連部門は演目が終わった後に全部借りられているという状況になっていますので、良い相乗効果になっているのかなと思っております。</p>

<p>三浦委員</p>	<p>それから前任の館長の時代からイベントに力を入れていたのは、「富津市立図書館」というのがここにあることを知ってもらう、図書館で本を使ったイベントをやっていることを知らせるということもあって、力を入れておりましたが、前回ご指摘をいただいたように、図書館本来の、本を使ったイベントを増やすということで次年度以降の計画の中では工作はすこし減らして、クリスマスなどの特別な工作は別ですが、おはなし会とかそういったものをどんどん増やしていこうと考えているところでございます。</p> <p>それから本を探しづらいというところは、今回のアンケートの中でも図書館の見出しが良くないとかあって、これは図書館のスタッフも配架するときにその場所がわかりづらいというところもあるので、これは時間が掛かって申し訳ないんですけれども、少しずつ改善をさせていただいております。来年度9月にまた蔵書点検がございいますので、この長い休館期間にガラッとかわえられるように準備していきたいと考えております。</p> <p>それから青堀小学校とか富津中学校は、団体貸出はあまりないですけど、富津中学校の生徒さんは頻繁に施設に来ていただいております。ただ、騒いだりとかもありまして、先生が見回りに来てくれるようになりました。そうすると、生徒さんは来なくなってしまう。青堀小のお子さんたちは、学校から直接図書館に入ってはいけなという指導をされているようなので、一旦うちに帰ってから親御さんと一緒に来るという、図書館を直接の利用がないところがちょっと歯がゆいところでございます。</p> <p>富津中の先生と話をしたときに、富津中学校の生徒とわかるように制服とかジャージとかで来てくれたら図書館の方で注意できるので先生が来なくていいですよ、周りの人も見てもわかりますから、そういう格好で来てもらってくださいって、って言いましたら、一度家に帰って着替えていくように、という指導をしていると話されました。周りの大人が注意できるような環境になれば生徒さんたちも来やすくなるのかという感じはしています。以上でございます。</p> <p>学校の方も市立図書館を活用するというのは目標なんですね。本校も目標にしていますが、私が4月に着任したときには、あまり子どもたちが本に触れていなかったんです。だからまずは市の図書館に行くという</p>
-------------	---

よりも、学校図書館の充実を図るというのが目標になっています。まず学校図書館を本の読み聞かせのボランティアの方たちや読書支援員の方にお手伝いをいただいて、本をきちんと整理して気軽に手に取れるような環境作りをされていて。本が大好きになるような子供たちを育てていこうっていうのは、今どこの学校も目標にしているんです。さらには、市立図書館の方が本がたくさんあるからそちらにも足を運びましょうっていうことは常日頃、学校だよりに書いたり、お話をしています。また移動図書館が、学校に来ているので、そこでもみんなが借りにいくっていうのを各学校は力を入れている。今年はかなりそうやってきたと思います。なので、次の目標は市立図書館に自分たちの足で、吉野小の学区は自転車に乗って図書館まで行ける距離なので、っていうのを目標にしています。そうしたところ最近、保護者とか子どもたちからは6冊から10冊借りれるようになって嬉しいという声を直接聞いて、図書館に行っているんだなって思ってとっても嬉しかったです。それから、親子で放課後、宿題を持って図書館に行って、子どもたちは自習席で勉強して、宿題が終わったら好きな本を読んで良いよと言って、その間、親は自分の好きな本を読む時間になっているんですよというのを聞いて、とてもよいなど、そのことを先生たちに紹介したりもしました。なので、まだまだ市立図書館に足を運ぶというのは少ないんですけど、これからも目標にして進めていきたいなと思っています。

イベントの件で一つだけ。小学生のイベントをもうちょっと考えて欲しいというアンケートの結果ですが、実は本校でもちょっと話題になったんです。というのは、平和教育、戦争の勉強をする学年があって、校長室に本を用意したり、昭和館から昔のランドセルとか赤紙とか戦争の資料を借りて展示したりして、1か月間子どもが自由に見に来るっていう時間を設けていたんですが、それだけでは足りないんで、これ以上見たかったら市立図書館を勧めたりもしました。そうしたら戦争の時のお話を聞きたいっていう子どもたちがいたので、「戦争を語り継ぐ会 ピーススタッフ」の退職された先生たちの話を聞いたりしたんですが、学校では他にも落語教育とか、食育教室とか、情報モラル教室とかをやっているんで、学校でやったことをさらに学ぶ機会に繋げるために、図書館と情報共有させていただければ、そういうイベントも可能になるのかなって期待をしながらお話を聞いていました。

<p>議長 (川口会長)</p>	<p>いろいろお話をさせていただきましたけど、今年、とにかく本に触れる ということはいいいことだっていうことを職員も子供たちも家の人も感 じることができた１年だったので来年も頑張りたいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。三浦委員が今言われたように、図書館の見学 は非常にいいなと思っていて、実際に見学した人が、図書館をこうした らいいんじゃないかって話し合って充実していく。ここでもいろんな意 見が出たことでも前進していくことになって非常にいいなと、感想です けども思いました。</p> <p>学校としても利用を推奨しているということで、矢上委員いかがです か。</p>
<p>矢上委員</p>	<p>近いところがもっともって行ってくれるといいなっていうのはちょっ と思いました。</p>
<p>議長 (川口会長)</p>	<p>それと、また繰り返しますけど本の配列については図書館の方で 順次要望を聞きながらやっていただけるということですね。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>ほかになにかございますか。</p> <p>先ほど矢上委員や三浦先生からの話だと、図書館に出向くっていうお 話が多かったと思うんですけど、図書館の方から学校に出向いてって いう、図書館の方から生徒に向けてどんなことを発信したりっていうの もあれば、聞かせていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (須藤館長)</p>	<p>今まではどうしてもスタッフの数とかもありまして、外に出ていくっ ていう活動がなかなかしづらかったんですけども、来年度以降について は、外に出ていくサービスをどんどん増やしていこうと思っています。</p> <p>ターゲットとしては、二つあって高齢者施設、それから学校は当然あり ます。学校向けについてはですね、まだちょっと検討中なんですけど、落 語会が偶数月の平日開催という形になっているんですね。そうすると、 演者さんは１日拘束ですので、午前中暇なんです。ですので、午前中に 各学校にまわってもらってとすると全部で６回、回れますので、ほぼ全</p>

	<p>校回れるんじゃないかなと考えています。演者さんができるできないとか、子ども向けの落語はできないとかそういった方がいらっしゃるかもしれないのですが、そういったところをきっかけに、ちょっとイベントを作って図書館ってこういうとこなんだよっていう宣伝をしながら身近に感じてもらうってことは考えているところでございます。</p>
杉田委員	<p>もう一点、資料2質問4「一般向けの「読み聞かせボランティア養成講座」を開催してほしい」の一般向けというのはどういう意味なんでしょうか。</p>
事務局 (須藤館長)	<p>一般向けというのは、初級編の「ボランティア養成講座」は、読み聞かせに興味があって、ただまだ一度もやったことがないという方に向けた講座を考えておりました。そのために昨年、初級講座で来ていただいた方に今年も講師で来てもらう予定だったんですけども、急に体調不良で長期の休みに入ってしまったしまして、来られなくなってしまったこともありまして、皆さんにも宣伝せずに終了してしまいました。来年度は、別の方をアサインして開催していきたいと考えています。</p>
杉田委員	<p>もう一点、先日、中級講座の読み聞かせ講座を開いていただいて、参加させていただいたんですけど、矢上さんとご一緒だったんですけども、そこで私が個人的にすごく良かったと思うことは、その講座に図書館スタッフの方が入って、一緒に講座を受けていて、これはすごい事だと、市民と図書館が一体になって、こんなふうになりたいって思いました。あの場はすごくいい時間だったなって大喜びして帰りました。ありがとうございました。</p> <p>もう一つ、「5のつく日は読書の日」の周知について、前回の協議会で皆さんと協議しましたが、読書の日ポスターを公民館で見ました。少しずつでもこうやって皆さんとここで協議したことが広がっていったような気持ちにさせていただきました。どこでも「5のつく日は読書の日」っていうのを目にするようにしていきたいなって思いましたので、ご報告します。</p>

<p>議長 (川口会長)</p>	<p>他にご質問ございますか。</p> <p>ご質問ないようですので、本日の議題についてはこれで終了いたします。</p> <p>次に「次第4 その他」ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
<p>矢上委員</p>	<p>とても細やかに協議会でお話ができいいかなと思っているんですね。来年度について、よその市ではほとんど2回なので、そんなにやっているところはない、みたいになると、それは私は勿体ないと思うので、少なくしないで欲しい。一般募集もすると思うんですけど、ここに何人も申し込まれる方、思いがある方がいるのであれば、定員をあまり設けなくて、たくさん参加した方がいろんな声が聞けるんじゃないかなって私は思いました。それとちょっと今日はお話しできなかったんですが、リクエストのお話しとかがありましたが、そういうことがどんなふうに数字になっていくとかということは次回の中で教えていただきたいと思います。すいませんよろしくお願いします。</p>
<p>議長 (川口会長)</p>	<p>回答を求めるのではなくて、要望でということではよろしいでしょうか。</p> <p>ちょっと離れますけども、第1回の会議のときに、この協議会をどう進めるのかとかそういう議論をしたと思います。私なりに会長を2年間やらせていただいて、これで終わりなんだっていう会議じゃなくて、皆さんから意見を集約しながら、例えて言うなら一つの列車のように貨物を積みながら進んでいって、問題に対して進行形ですよ。ですから、終わりがない列車の中で皆さんと協議しながら、実のあるものをどんどんどんどん乗せていくというような方法でやっていくと、その中心となるものが図書館でやってる自主事業を、それを基に我々委員がああしようこうしようとか、ちょっと協議会の主題から離れてしまうんですけどそういう話もしながら、教育委員会、もしくは学校に発信しようよとか、そういう形で進んでいけばいいのかなと、進め方として意見を出させていただきますけど、皆さんいかがですかね。私がこういう話をしたっていうのは、次にまた我々は繋げなくちゃいけない、そういう中で、やはり方向性を持って次の協議会員の方たちに、今までこういうふうに進めてきたんで、もしよければ、そういう進め方にしたらどうですか、</p>

<p>杉田委員</p>	<p>という話をしていただければと思っています。</p> <p>私も矢上さんと同意見のところがあって、開館して始めて2年、1期が終わったというところで、いっぱい館長さんから、図書館はこういう計画ってということでたくさん計画いただいて、味わったことのないわくわく感でそんなことをやってくれるんだ、こんなこともやってくれるんだ、で今回回数が減るっていうことに関して、これから中を詰めて、せっかく企画したことがやっぱりなかなか集客に結びつかない、どんなふうな方法を、図書館の方はこんなふうに一生懸命考えてくださって我々ができることは何かとか、やっぱりその辺のことを詰めてっていうのがこれからの課題だと思うんですね。</p> <p>やっぱり前回米村さんも回数のお話を確かご意見されたと思うんですけども、今年度3回あるんで意味があるんだって挙げてくださってそれで、3回でっていうお話聞いたりして、報告会だけで終わりそうだなっていうちょっと私そここのところに不安な気持ちを持ちまして、やっぱりその3回という回数、その1回が大事なのでぜひ、このままの形でただお互いに報告だけ言い合っただけじゃなくてそれをどうやって具体的になっていう解決策まで近づけたらいいなっていうそういう協議会になれたらっていうふうに思いますので、あの回数のことはご検討いただけたらと思います。</p> <p>それで一つすいません。間に言い忘れました。私、他の会議ですすね、図書館協議会があるので、何でもご意見くださいっていつも言うようにしてるんですけど、その意見くださった方は、高齢者が多いんだよ、すごくいい時間なんだあそこは、っていうふうなご意見いただいて。椅子にクッションを置いて欲しいという意見があって。先ほどごめんなさい館長さんから椅子が硬いっていう意見があったって聞いて、同じだって思いながらすいません流しちゃいました。その方は高齢者にとってとってもいい空間であり時間を過ごせてとてもありがたい、それを伝えてほしいってということと、それに添えて、ぜひクッションを置いてください。使いたい人はそこから取っていけるような形でもいいのでっていうふうに言われてました。すいません</p>
-------------	---

議長 (川口会長)	クッションの要望だそうです。少しずつ実のある会議になっていけたらと思います。事務局から何かありますか。
事務局 (網代主査)	<p>次回の会議については、5月頃を予定させていただきたいと思います。詳細な日程についてですが、本日の会議ですが、事務局の確認不足により日程が他の行事と重なってしまいまして、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。</p> <p>今後はこのようなことがないよう、会議日程の決定にあたりましては、あらかじめ何日か候補日をメールで委員の皆様へ通知させていただきまして、それぞれのご都合等を聞かせていただいた上で、日程を決めさせていただくといった形に変更したいと思いますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。以上です。</p>
事務局 (中山部長)	<p>本日はご多用の中、会議にご出席いただき、また、貴重なご意見を沢山いただきましてありがとうございます。会長の冒頭のあいさつにもありましたが、3月31日をもちまして委員の任期が満了となります。皆さまにはこれまで、富津市の図書施策に関する多くの貴重なご提言ご意見をいただきまして心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。皆様から頂いたご意見を参考にこれからも我々も図書館と一緒に成長して、市民の学びをささえる機能を果たせるよう、委員の皆さまにはこれまでと同様にお力添えをいただけますようお願い申し上げます。</p> <p>改めて皆さまのこれまでのご尽力に心からの感謝を申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。</p>
議長 (川口会長)	<p>ありがとうございます。それでは以上をもちまして、全ての議事を終了いたしますけれども、最後にお礼の言葉を述べさせていただきたいと思います。図書館のオープン時につきましては、多くの工夫を凝らしまして、富津市民に沿う自主事業を企画していただきました。これにつきましては当時の小川館長はじめ、スタッフ皆さんには大変なご苦労があったと思っています。これらの努力に、感謝するところでございます。そしてこの努力があって、開館して6ヶ月を前に来館者数が10万人を超えたということで、これも努力の大きな要因の一つだと思ってお</p>

<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>ります。</p> <p>これからも、須藤館長を初めスタッフの皆さんには今まで同様、富津市民に寄り添った、図書館の基本コンセプトである「気軽に立ち寄れる。であい学び、憩いの場」としての図書館を目指し、事業運営を進めていくよう、お願いしたいと思います。</p> <p>また委員の皆様には本日を含めまして、2年間多くの意見を出していただきまして、本当に充実した会議になったと私は思っております。</p> <p>また円滑な議事進行についてもご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日は、長時間にわたりまた、2年間にわたり貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第3回富津市図書館協議会を閉会いたします。</p> <p>お疲れさまでした。</p>
-----------------------	---